

6. 教員養成に係る教育の質の向上に係る取組

本学では、教育の質の向上に向けて教員養成授業科目を含むすべての授業科目について、次のようにPDCAサイクルを確立しています。

【Plan】 「履修要項（シラバス）」（以下、シラバス）を作成する。シラバスには各科目について、授業の目標及び内容（授業の到達目標、概要、授業時間外の学習）、授業計画、評価、参考文献等、備考（オフィスアワーの指示を含む）を明示する。

【Do】 HP等でシラバスを学生に周知し、各教員はシラバスの内容に沿って授業を進める。

【Check】 学生の授業の理解度は、(1)各教員が小テストを実施したり課題を提出させたりして把握する方法があり、各科目の担当者が独自に実施している。また、「授業公開週間」を設けており、教員が相互に授業を参観し合うことで、授業の点検を行っている。最後に、各教員は、学期末に学生の成績評価を行うとともに、学生による授業評価アンケートを実施する。授業評価アンケートの結果に基づき、「授業改善に向けて」（授業改善報告書）を作成し、FD・SD委員会で集計する。

また、授業評価アンケートの中で、履修した科目すべてについて、それぞれの科目で目標となる中心的な学習成果に焦点を合わせて達成度を自己評価してもらっている。その全体的な集計結果は教授会で示されると同時に、担当科目のデータはそれぞれの教員に、また学制別のデータは各指導教員に配布されることになっている。さらに、年度末に全学生を対象に「学習に関する調査」アンケートを実施し、授業を始めとした学習活動全般について調査している。加えて、令和2年度からは大学・短期大学基準協会の実施する短大生アンケートのデータを用いて、達成感や満足度を調査・分析している。

【Action】 各教員は提出した「授業改善に向けて」に従って、次年度の授業改善に取り組む。また、上記の諸々のアンケートの集計結果は教授会で報告され、各教員によって活用されるとともに、組織的にも活用され、教育の質の向上に役立てられている。